

(特選)

☆田水張る丹沢山の影写し

忠男

田植えのために水を張った田圃に丹沢山の山影が映っている。雄大な景観を切りとり写生した。晴れわたった空に丹沢山が聳え立ち、ふもとに広がる田圃の情景が目に見えかぶ。田圃の近くに立って丹沢山を眺めている作者の姿が浮かぶ。

・鮎の川息とめて打つ投網かな

進

川の浅瀬に立って鮎の群の動きを見つめている漁師、ここだとばかりに一瞬息を止めて投網を打つ。多数の鮎が網に入っている手応えあり。清冽な川の流れが見える。中七の「息とめて打つ」が漁師の姿をよく捉えている。

・サーファーの宙を舞ふ技息をのむ

けんじ

沖から巨大な波が押し寄せてきた。熟練のサーファーが見事にその波に乗っている情景は息をのむほどだ。波の動きとサーファーの波への対応が鮮明に写生されている。中七の「宙を舞ふ技」の措辞が良い。

(入選)

- ・白南風や市に商ふ藁草履
- ・鶏小屋に卵五つや竹落葉
- ・ひと息に断つ煩惱や生ビール
- ・禅寺の経の洩れくる竹落葉
- ・幼児の微かな寢息夏布団

たか志

玄舟

良月

一江

繁好

(佳作)

- ・かさかさ鳥の足音竹落葉
- ・体験の子らの田植や泥の顔
- ・田植終へ畦に佇む翁かな
- ・田植終へ畦に寛ぐ老夫婦
- ・竹林の柔き日差しや竹落葉
- ・弁当にひらひら一葉竹落葉
- ・真青なる田植の空に飛行機雲
- ・泥んこの笑顔の児らの田植かな
- ・あぢさゐや手と手をつなぎ園児行く
- ・母も子も泥にまみれて田植かな
- ・流鏑馬の的射る音や竹落葉
- ・地震の亀裂や千枚の田を植うる
- ・ジョギングの香水放つ乙女かな

たか志

良月

繁好

清

繁好

邦夫

一江

たか志

邦夫

進

良月

良月

繁好